



成城大学

— データサイエンス科目群 履修生の声 —

文理を問わず挑戦を重ねる AI利活用人材へ

島村 優 さん 法学部・法律学科 4年

自分の専攻する学問分野に加え、他の専門分野に触れてみたいと考えていたため受講しました。特に印象的な授業は、「データアナリティクス応用」。仮説に対して複数の分析手法で実証を進める中で、分析手法の選択におけるポイントや、分析の進め方などを学ぶことができ、データサイエンスの奥深さを感じられました。科目を通して得るものは多く、データサイエンスに関連する知識や技術はもちろん、データサイエンス科目でExcelを使用したことをきっかけにMicrosoft Office Specialist Excel 2019も取得。興味があることに積極的に挑戦する姿勢も身に付きました。今後も授業を通して理系の学問を学び、自身の専門分野との融合を目指すとともに、将来的にはAIを適切に利活用できる文系と理系の架け橋のような存在になりたいです。



データサイエンスの学びを 部活動に応用

臼井 啓 さん 経済学部・経済学科 4年

受講した理由は、コロナ禍によるオンデマンド授業をきっかけにコンピュータに興味を持ったからです。1年次後期から履修を開始し、順に単位を取っていき、最上位の履修証明までを取得しました。特に印象深いのは、データサイエンス科目の学びを、所属するダンス部の活動に応用したことです。骨格推定測定を行う姿勢推定AIエンジンを授業で知った私は、担当教授にご協力いただき、ダンス中の様子を撮影して分析しました。部員にも撮影協力を仰いで比較映像の分析を行った結果、全員のダンススキルが向上。その後私は約30人を率いるリーダーに就任し、作品を創りあげることになりました。この経験を活かし、将来はデータサイエンティストとしてヘルス・スポーツ分野に携わりたいと考えています。



人文・社会科学分野の学び×データサイエンスで シナジーを生み出す

全国に先駆け、
文系独自の視点で教育を推進

文系4学部からなる成城大学では、「文系学生こそデータサイエンスを学ぼう」のモットーを掲げ、全国に先駆けて2015年度から全学的なデータサイエンス教育に取り組んでいる。教育の拠点は、学内に設置されたデータサイエンス教育研究センター。確かな基礎知識と豊かな発想力を涵養し、データサイエンスで人文・社会科学分野に寄与する人材を育成することを目指す。

知識段階に応じた科目群で
系統的な学びを展開

同センターの主任務は、全学部学生に向けた「データサイエンス科目群」の提供である。科目群は16科目32単位で構成、「リテラシー」「応用基礎」「アドバンスド」の3レベルに分かれ、学部・学科にかかわらず履修可能だ。リテラシー科目で基礎を習得し、応用基礎科目ではデータアナリティクス、AI、プログラミングについて深く学ぶなど、

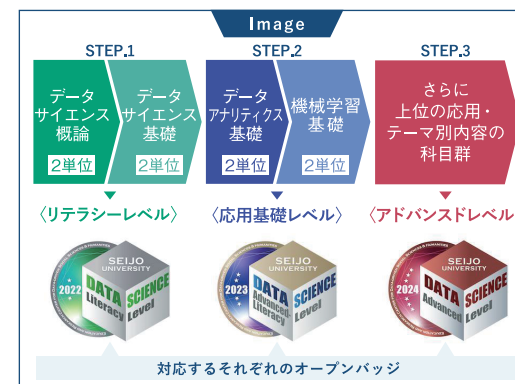
知識を積み上げてデータサイエンスの奥深さと可能性に触れるカリキュラム構成となっている。アドバンスド科目には、第一線で活躍するデータサイエンティストを招き、実社会におけるデータサイエンスの活用事例を体験的に学ぶ科目群を配置。社会課題の分析とその解決に向けた貢献方法を、学部での学びに結び付けている。

成城大学では、データサイエンス科目群の系統的な履修を促すために、3段階の履修証明に対応するオープンバッジを発行している。データサイエンスの基礎と応用、そして社会実装までの過程を学ぶことで、社会の即戦力となることを期待している。

学部との融合で
データ活用領域を拡張する

同センターでは、科目開講のほかにもデータサイエンス関連の講演会やシンポジウムの開催、資格試験対策講座、各種のワークショップなどの正課外活動も積極的に実施している。正課外活動の場では4学部11学科、異なる専門領域の学生たちが一堂

に会し、交流が活発に行われる。そこで新たな発想が生まれたら、融合な取り組みのきっかけになったりと、データ活用のフィールドがより広がる機会を生んでいる。今後も、人文・社会科学分野をはじめとした実社会におけるデータ活用人材を育成するために、取り組みの強化を図る成城大学。同センターの目標は、学生一人ひとりがデータ活用の専門知識を活かし、それぞれの学部・学科での学びを結び付けて柔軟な発想力で新たな価値を生み出していくことだという。先駆的な取り組みを推し進める成城大学の今後、さらなる期待が寄せられている。



データサイエンス教育研究センターの取り組み〈データサイエンス・ワークショップ〉

プログラミング入門講座

センターでは、各種のワークショップを全学生向けに無料で提供しています。ワークショップには、小型ドローンのビジュアル・プログラミングをテーマとしたものもあります。これはプログラミングへの興味・関心のきっかけとしての入門講座で、参加者はドローン技術や関連法制などを学び、ドローンのプログラミングと自動飛行の体験をします。



Unityを使用したAR体験講座

このワークショップでは、3Dゲームを作成できるエンジン「Unity」を用いて、カメラに3Dモデル(立体画像)を表示させるAR(拡張現実:Augmented Reality)をゼロから作成します。作りたいイメージを紙に手書きし、Webからダウンロードしたモデルを複数組み合わせ、理想形に近づけていく、楽しみながらARを学べる講座です。



Python入門講座

Pythonの基本を学べるプログラミング初心者対象の講座です。講座の前半ではプログラミング言語に対する説明やPythonの特徴などをほかの言語と比較しながら学習。後半ではPCを用いて、独自の関数やデータ分析といった簡易なプログラムから、グラフ作成や画像加工といった実用的なプログラムまでを幅広く作成します。



※いずれの講座も、参加者には受講証明としてオープンバッジが発行されます。